

はぼろ

議会だより

ピツシリ

第125号

2023



8.24



第4回定例会・6月22日開催	・・・4
一般質問4名の議員が行う	・・・5
総務産業常任委員会	・・・9
全道議員研修会、道内視察	・・・10

踊り山「羽幌神社祭にて」7月10日撮影

●発行／北海道羽幌町議会 ●編集／広報広聴常任委員会

令和五年 羽幌町議会組織決まる

【抱負】

新型コロナウイルスの収束の兆しが見えてきた今、傷み切った町の日常を取り戻し、活気ある街にするため、町政としっかり議論を重ね、活力と魅力にあふれ、安心・安全で住みよい町にするためまい進します。

議長として当町の発展のため、様々な課題に迅速的確に対応できるよう円滑な議会運営に努めます。



議長に村田氏

村田 定人 議長

■プロフィール■

生年月日

昭和36年2月26日（62才）

初当選

平成26年11月（4期目）

活動歴

副議長、議会運営委員会委員長、公共施設マネジメント調査研究特別委員会副委員長、議会広報特別委員会副委員長等を歴任。

5月12日改選後の初議会にて、議長、副議長の選挙が行われました。

また各委員会の選任、委員長等の互選も行われ、新しい議会組織がスタートしました。

副議長に平山氏



平山 美知子 副議長

【抱負】

町民の安心安全を支える医療・福祉対策などの懸案事項が山積している今、課題解決に向け町民の代表として何が最適であるかを念頭に置きながら、議員一丸となって町民の多様な意見を反映できるよう、副議長として議長を補佐し、町民皆様の期待に応えられる議会を目指します。

■プロフィール■

生年月日

昭和25年1月10日（73才）

初当選

平成23年4月（4期目）

活動歴

議会広報特別委員会副委員長、医療問題調査研究特別委員会委員長、文教厚生常任委員会副委員長、議会選出監査委員等を歴任。

羽幌町議会構成

4委員会・1特別委員会・2一部事務組合・監査・議員会

総務産業常任委員会

総務課、地域振興課、財務課、建設課、上下水道課、農林水産課、商工観光課等の所管に関する事務

委員長 小寺 光一
副委員長 工藤 正幸
委員 金木 直文 逢坂 照雄
佐藤 満

議会運営委員会

議会の運営や活動のあり方の問題点をとらえて調査研究し、より適正で円滑な議会運営に関する事務

委員長 磯野 直
副委員長 平山美知子
委員 金木 直文 小寺 光一
阿部 和也 工藤 正幸

文教厚生常任委員会

町民課、福祉課、健康支援課、教育委員会の所管する事務の調査研究など

委員長 阿部 和也
副委員長 磯野 直
委員 平山美知子 舟見 俊明
村上 雄也

広報広聴常任委員会

議会広報紙の編集・発行、町民との意見交換会、議会インターネット中継等に関すること

委員長 工藤 正幸
副委員長 舟見 俊明
委員 阿部 和也 佐藤 満
村上 雄也

特別委員会

※特別委員会は全ての議員で構成されます

医療問題調査研究特別委員会

委員長 平山美知子 副委員長 阿部 和也

一部事務組合議会

議会議員会

北留萌消防組合議会

小寺 光一 村上 雄也

会長 金木 直文
副会長 工藤 正幸
幹事 舟見 俊明 佐藤 満
村上 雄也

羽幌町外2町村衛生施設組合議会

阿部 和也 舟見 俊明
工藤 正幸 佐藤 満

監査（議会選出）

逢坂 照雄



佐藤 満



金木 直文



阿部 和也



逢坂 照雄



村上 雄也



小寺 光一

※議席番号順



磯野 直



舟見 俊明



工藤 正幸



平山美知子



村田 定人



令和5年 第4回定例会

本議会は令和5年6月22日から23日までの2日間の会期で開かれた。今回は報告6件、一般議案5件（条例改正1件、計画変更1件、補正予算案3件）、同意3件、諮問1件、発議2件、意見案1件が審議され、提案どおり可決された。

一般質問は4名（4件）であった。

森町長 所信表明

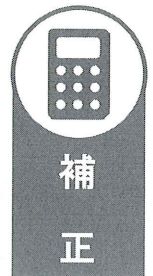
全ての町民のみなさまにとって わが町が未来に希望の持てるまちに

●「羽幌町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」は、放課後児童健全育成事業所に置かなければならない放課後児童支援員に必要な研修について、当分の間、経過措置を設けるための改正。

●「辺地に係る公共的施設の整備計画（令和2年度～令和6年度）の変更」は、総合整備計画において整備しようとする公共的施設の整備を必要とする事情及び整備計画を変更するとともに、新たな公共的施設の整備計画を追加する。



所信表明をする森町長



【一般会計補正予算】

《主な補正内容》

・天売総合研修センター施設管理事業（修繕料） 20万円

・保育環境改善等事業（安全対策事業）補助金 17万円

※保育事業所送迎用バスにプザーを取り付けるため

・廃棄物収集処理事業（修繕料） 25万円

・ハートタウンはぼる運営事業（点検調査等委託料） 41万円

・社会教育施設管理事業（郷土資料館修繕料） 60万円

・学校保健事業 △22万円
※市街地区の学校医が辞職するため

・ふるさと納税業務委託料 322万円

※新たにWEB広告を行うため



羽幌町農業委員会委員の任命
・羽幌町農業委員会委員に11名の推薦があり、同意される。

人権擁護委員の推薦

・前委員の米山しげみ氏が令和5年3月31日付けをもって任期満了となるため、湊正子氏の推薦の諮問があり、同意される。

羽幌町副町長の選任

・羽幌町副町長であった鈴木典生氏の退職に伴い、三浦義之氏の選任を同意。

羽幌町教育委員会

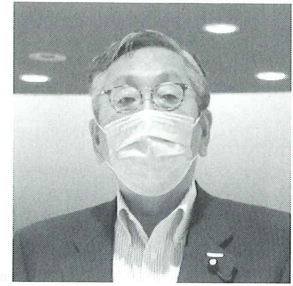
教育長の任命

・羽幌町教育委員会教育長であった山口芳徳氏の退職に伴い、濱野孝氏の任命を同意。



・ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業の充実・強化を求める意見書を提出。

佐藤 満 議員



問 港湾整備事業の将来構想は

答 新たな国直轄整備事業計画



一般質問
音声配信



狭隘化する羽幌港

問 羽幌港狭隘化
新規漁業者に伴う漁船隻数増加や漁船更新による大型化など、規模拡大による羽幌港が狭隘化し、漁業者間で大きな問題となっている。狭隘化の実態把握、係船場所、荷揚げ場所の確保を早急に検討する考えはあるか。
答 実態把握については、羽幌フェリーターミナル移転後の港町地区船溜まりに漁船を係留させ、かつ、いか釣り外来漁船の入港による漁港区間の狭隘解消と港全体の利用再編を図る必要がある、さ

らに、天売焼尻島から来る漁船を安全に停泊できる場所の確保が求められていることと認識している。狭隘化解消の一つとしては、従前より国直轄事業による旧フェリーターミナル岸壁整備を実施しているところ。今後は北海道開発局、港湾利用関係者等とも協議しながら整備を進めていく。
港湾の将来ビジョン
問 港湾の将来ビジョン構想を作成する考えは。
答 平成12年度から令和7年度までの国直轄整備事業に基づき整備してい

るところであり、令和8年度以降の整備については、地元漁業者や関係機関等と十分協議していきたい。新たな国直轄整備事業計画を将来ビジョンとして捉えていく考え。
問 新規漁業者の港湾における空き地利用について、国や道が推進する新規漁業者や担い手対策の一環として積極的な土地利用を促進するべきでは。
答 現状において、港湾施設内に有効な空き地がなく、また、その他の町有地についても除雪などで活用されている旨を説明させていただいている。今後については、改めて土地利用状況を精査したうえで検討していきたい。

問 離島漁業者の一時漁船係船岸壁活用方法を考えるべきでは。
答 港湾内で一時的に利用可能な岸壁を活用していただいている状況。今後の活用方法については、現在国直轄事業で行っている旧フェリー岸壁の整備事業の中で検討していきたい。

問 天売港では、越波や風害で港湾利用に支障が出ている。防止策を中央要請として実施しているか。また、その結果を受益者に回答しているか。
答 天売港をはじめ、離島港湾の状況については、毎年度実施される国直轄事業に関するヒアリングの中で状況報告を含め要望をしている。離島港湾が休止港ということもあり十分な整備が進んでいない状況。現在、北海道開発局において風害調査をしており、令和4年度に風況調査を実施、令和



越波の様子

工藤 正幸 議員



問

建築業への事業振興策は

答

住宅リフォーム助成制度の実施へ



一般質問
音声配信

リフォーム助成を 再度実施しては

問 過去に9年間実施していた住宅リフォーム助成制度は、町民の要望も高く、建築業においても事業推進に有効活用された制度であった。

答 町内の経済活性化を図るためにも、この事業を再度実施するべきと思うが実施の考えはあるか。
答 リフォームをするこ

住環境の整備や建築業の振興、さらには町全体への活性化につながることを認識しており、事業の再開時期や補助内容等を含め検討を進めていく考え。

問 事業再開に向けて検討すると答弁したが、事業規模は小さくても、補正予算を組んで、今年度から実施し、建築業の事業推進につなげるべきと思うが。

答 担当課と相談したが、事業所によっては、今年度の仕事が立て込んでい



屋根と外壁をリフォームした住宅

できない場合も考えられる。今後、速やかに町民に分かりやすい形で一定の方向性を出して、来年度早々に実施したい。

新築住宅の促進策 として助成制度を

問 町内の建築業者が施工する新築住宅は近年減少傾向にある。

答 新築住宅建設助成制度を事業化することで、町民が地元業者を利用して新築住宅を建設する機運が高まり、建築業者はもとより関連する業種への経済波及効果も見込まれ地元業者が新築住宅を施工することにより、町内全体の経済活性化につながるかと考える。

問 この制度を創設し、建築業の事業推進を後押しするべきだと思いがどのようになっているか。

答 町内の事業者が施工した民間戸建て住宅の新築件数は、近年減少傾向にあり、特に過去3年間においては、令和2年度0件、3年度、4年度はそれぞれ1件で推移して

いる。

また、助成制度が創設され町内の建築業者が施工することで、関連業種への経済波及効果については理解しているが、現時点においては、限りある財源の範囲で優先度や緊急性、他の政策とのバランス等を総合的に勘案しつつ、必要性を十分見極めたうえで判断していく必要があると考える。



地元業者施工の新築住宅

問 苫前町では、新築・改修・解体工事の所管事務を一元化して助成制度を実施し、この事業による地域経済への波及効果が大きいことから、令和2年度から事業を恒久化し継続実施している。

答 本町においても町内の経済活性化に効果のある事業を予算に組み入れて実施すべきではないか。
答 事業者と会う機会もあると思うので、改めて全体を見た中で、来年度の予算前に再検討することだけはお約束したい。

金木直文 議員



問 次期介護保険料の見通しは

答 負担を抑えつつ、適正に設定へ



一般質問
音声配信

高齢者・介護の次期計画策定に向けて

問 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は最終年度を迎えており、次期の計画策定に向けて見直しを行う年度である。次期計画策定に向けた検討に入っているのか。スケジュールはどうか。

答 検討の準備作業を開始し、各調査・分析を進めているところである。引き続き、アンケート調査・分析作業を進め、介護保険事業計画審議会による審議、北海道等と調整を図りながら計画を策定し、議会への説明を行った上で、最終的に3月定例会にて「羽幌町介護保険条例」の改正を提案する。

新型コロナの影響は

問 今期の介護サービスの利用状況に新型コロナウイルスの影響があったかどうか、今後も影響するのかわか、検証と予測も検討すべきではないか。

答 感染者が増加した時期に、ショートステイや

デイサービスの利用が減少した時期があったが、介護サービス全体としての影響は限定的であった。**次期の介護保険料は**

問 今期の介護保険料は前期から引き上げられ、基準額で年間6万6000円。負担する金額としては限界感がある。保険料についての見解や見直しはどうか。

とから、まだ保険料の見直しを答える段階にないが、できる限りの負担を抑えつつ、必要とされる介護サービスが提供できるようバランスを図りながら、適正な保険料の設定に努めていきたい。

問 住民の負担軽減へ国や道へ要請していくという考えは。

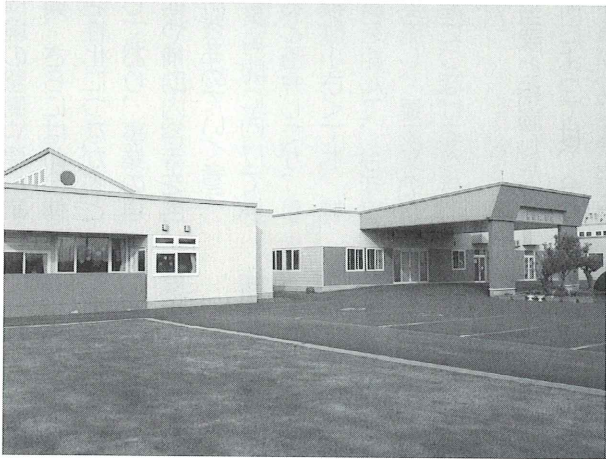
答 高齢者、福祉関係に限らず、必要なものは必要なものとして、国や中間の関係機関へ要請はしていく姿勢ではある。今の制度の中で効率よく運

営しながら、住民の負担を少しでも減らす方向で取り組むことが重要だ。**紙おむつ等の助成は**

問 高齢者の中には身体機能の低下や病気、けがなどによって、排せつのサポートが必要となった結果、日常的に紙おむつ等の使用で経済的な負担が増えている人もいる。紙おむつ等の給付や助成ができないか。

答 現在進めている次期計画のアンケート調査等の中で、実態把握に努め

遠距離通院者支援を
問 病気やけがの治療、その後の検査等で遠距離の医療機関を利用せざるを得ない人へ、特に低所得者世帯・高齢者への交通費助成を検討できないか。
答 病気やけがの程度、通院の理由などにはさまざまなケースがあることから、対象者の特定が困難であるため、現在行っておらず難しい。
交通費のみの支援としてではなく、他の福祉施策として対応できないか、考えていきたい。



町立特別養護老人ホームしあわせ荘



町内薬局に並ぶ紙おむつ等の売り場

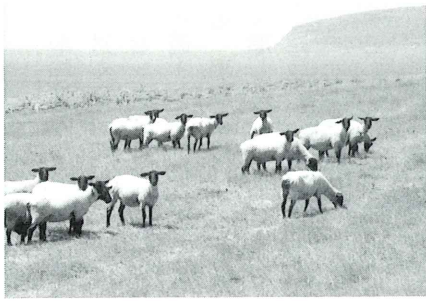
総務産業常任委員会

人材確保が困難

(6月6日開催)

◆焼尻めん羊牧場の現状

めん羊牧場は昭和37年の開設以来、町直営から指定管理制度の期間を経て平成31年度から、町直営に再移行となった。最低3名の飼育員の人材確保と、羊肉及び種畜の安定的な供給に向け、存続の可否を検討するだけの体制が整ったときには町民の意見も伺いながら方向性を示したいとしてきたところである。



放牧されている焼尻めん羊

人材確保については、必要な都度、農業就業サイトや町

のホームページ等により職員

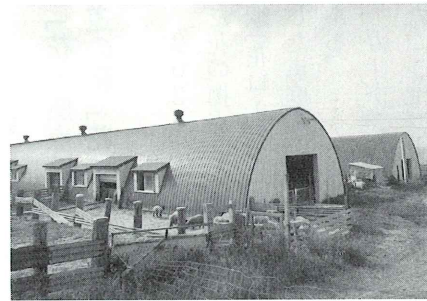
募集を始め、ほかの牧場や酪農学園大学へのアプローチも含め最低3名の飼育員の確保に努めてきたところである。

また、飼育員が継続して働くことができるよう打ち合わせや意見交換等を行うとともに、駆虫や出荷業務等へのサポート、さらに意思疎通を確実かつ迅速に行うためにスマートフォンアプリも活用し、働きやすい環境となるよう努めてきたところである。

しかしながら昨年9月に飼育員が2名体制になったことから、飼育員の日々の業務負担軽減を図るべく、島民の方のサポートを受けつつ運営するとともに、夜勤業務が入る本年1月からは、飼育員の休日対応のため、農林水産課職員が出張にて業務を補助してきたところである。

このような中、本年3月をもって予定されていた飼育員の退職により4月からは、1名体制となり、職員募集を始め飼育員の休日対応も継続して行っていたものの、この1

名についても8月末で退職の意向を示したことから、9月からは、飼育員が不在となることが見込まれている。



焼尻めん羊の飼育羊舎

牧場閉鎖を決断

◆焼尻めん羊牧場 今後の運営

9月には飼育員が不在となることが見込まれる状況にあること、今後において経験豊かな飼育員を確保できる見込みがなく、期待できる状況にもないところであり、このような中、9月以降に農林水産課の職員で管理運営をしていくとしても適正に管理することにしておいては、経験乏しいものが簡単に行えるものではなく、サポートいただいている島民の方へのさらなる負担増とな

ることも考えられる。

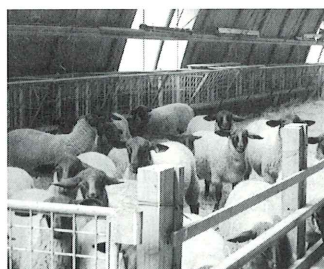
さらに、農林水産課の職員がこれ以上の対応を行うことは、人的余裕がない中で大変苦慮しており、農林水産課における他の所掌事務に支障をきたすことから現状の体制での継続は困難である。

また、頭数を減らし、観光牧場的な運営はどうかとの意見も考えられるが、この場合であっても働く者の休日の関係から、最低2名は必要となり、飼育員を確保できない現状を考えた時に、今後においても、焼尻めん羊牧場の運営を継続していくことは非常に困難であり、現飼育員の就業している期間において、すべての羊を売却譲渡や町民還元等も含めて閉鎖に向け、作業を進めていくこととする。

なお、焼尻めん羊牧場は、離島振興及び観光振興の面において大きな役割を果たしてきたものであり、牧場を閉鎖することにより、今後、新たな振興策等を考えていくことになるが、一定の方向性が出るまでは、草地における草の刈り取り等の最低限の管理(委託、雇用等)について検討していきたい。

《主な質疑》
【質問】島民に対し、閉鎖することの説明や理解は得られているのか。

【回答】現在の飼育員や、サポートをお願いしている島民の方等には説明し理解をいただいているが、島民の皆様への説明については時機を見て行わなければならないと思っている。



元気いっぱいの子羊

辺地格差の是正

(6月6日開催)

◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画

羽幌町の辺地に該当する地域は「天売」「焼尻」「寿・中央・朝日・平・上羽幌」の3地域となっている。

市町村は、辺地の公共的施設に係る総合整備計画を策定し、有利な辺地対策事業債を活用することができる。

全道議員研修会

本年度の全道議員研修会が7月4日、札幌コンベンションセンターにて開催された。全道144町村から1729名、羽幌からは8名の議員が参加した。



留萌管内から78名が参加

講師2名の講演を聞く

演題 『ウクライナ危機後の世界と日本』

講師

ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長

五百旗頭 真氏（いおきまこと）

ウクライナ侵攻による世界の現状と、各国の経済への悪影響等の状況について語られ

た。

また、ロシアと中国の連動による、今後の世界経済情勢の行方と日本の危機に対する外交や安全保障の大切さを学んだ。

演題

『日本政治の舞台裏』

講師

政治ジャーナリスト 田崎 史郎氏

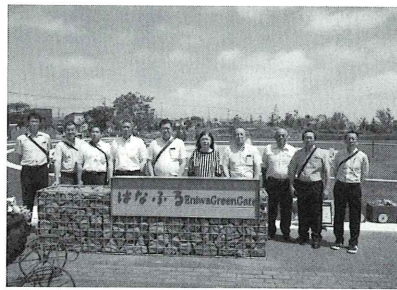
政治の世界の本質について、自身の政治家との付き合い、体験など、政治の世界の興味深い話をし、この先の日本政治についても語られた。



講演の開始を待つ議員

道内行政視察

議員研修に合わせて7月5日に恵庭市の道の駅「花ロードえにわ」と、花の拠点「はなふる」等を視察した。



恵庭市「花の拠点はなふる」

「花の拠点はなふる」と道の駅「花ロードえにわ」

2020年11月に開設された花の拠点（はなふる）は道の駅「花ロードえにわ」と一体化した恵庭市が誇る観光施設である。

ガーデンエリアは、異なったコンセプトによる7つのガーデンで構成された、自然の豊かさや変化が楽しめる花の拠点のメインエリアである。子供の想像力やコミュニケ

ーション力を育む、遊の空間「えにわファミリィガーデン」は、子どもの「やってみよう」を叶える親子で楽しめる遊び場となっている。

花と緑に囲まれた車中泊専用施設「RVパーク花ロードえにわ」はキャンピングカーなど車中泊を希望する人が安心して泊まれる施設。

「大きなカステラが焼けるお庭」は、家族でピクニックをしたり、ダイニングテーブルを利用して読書をするなど、思い思いの時間を過ごせるスペースである。

他にもスターバックスコーヒー「はなふる恵庭店」では



道の駅「花ロードえにわ」にて

バラエティー豊かなドリンクと、サンドイッチが好評だ。恵庭おむすび「おむすび」では恵庭産のお米をじっくり炊き上げて握ったおむすびが人気を集めている。



「はなふる」の説明を受ける

5月の臨時議会にて、今期の広報広聴常任委員会の委員5名が決定した。工藤委員長、舟見副委員長、阿部委員、佐藤委員、村上委員で構成された。



新しい広報広聴常任委員会